

令和5年度 長崎市立琴海中学校学力向上プラン

学 校 教 育 目 標		
自ら気づき、考え、互いを尊重し、夢実現に努力する生徒の育成		
【自主】・・・創造	【敬愛】・・・協働	【健康】・・・表現
○当たり前のことが当たり前に行える生徒の育成 ○自分で考え、正しい判断のもとに行動する生徒の育成 ○後輩の手本となる言動と、気づき、考動できるリーダーの育成	○お互いに認め合うことができる生徒の育成 ○友達のをさを認め、支え合い高め合う生徒の育成 ○いじめを許さず、仲間を大切に、思いやりの心を持ち、協力し合う生徒の育成	○返事・言葉遣いかぎらなく、感謝の気持ちを表すことができる生徒の育成 ○粘り強く取り組み、自己実現に向けて努力する生徒の育成 ○感染症防止に留意し、行事に燃え、元気ある生徒の育成

令和5年度長崎市立琴海中学校研究主題
主体的に学習に取り組む生徒の育成
～ 個別最適な学びを通して ～

設定理由
本校は、昨年度も主体的に取り組む生徒の育成をめざしてきた。本年度は引き続き、「自律」を学校テーマとして、学習においては、自らの課題に向かい合い、目標をもって取り組む生徒の育成を図る。生徒の実態としては、毎日の琴中タイムなどの自律学習を通して徐々に成果が表れてきている。また、学力調査においては、読解力の向上にはまだ課題を残すものの、昨年度の課題であった自分の考えを表現することにおいては、成果が表れてきている。しかし、学力の二極化が見られ、学習意欲が低下している生徒が見られる。そのため、生徒の自律を促すことと並行して、個別最適な学びの設定が必要と考えた。本校の強みである生徒同士の仲の良さを生かして、学び合い活動を仕組み、互いに高め合う集団としたいと考えている。

変化の激しいこれからの社会を生きる子どもたちに身に付けさせたい【確かな学力】の向上
知識・技能、主体的に学ぶ意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力の向上

授 業 研 究

授業技術の向上	教師の伝える力の向上 ・簡潔、明瞭な説明や指示(言葉の厳選、声量、語調) ・復習に役立つ計画的な板書(文字の大きさ、色、下線) ・クロームブックの効果的な活用
	教師の評価と個への対応 ・授業中の形成的評価 ・評価後の個別指導の手立て
	生徒の掌握 ・学習内容の理解度の把握(観察力)

主体的な学習	主体的に学ぶ場の設定 ・「自律」を促す仕組みのある授業 ・読解力の視点を取り入れた授業 ・根拠を持って書いたり、話したりしながら説明する場面の設定(PREP法)
	学び合い活動の充実 ・授業内容に応じたペア学習、グループ学習など協働的な学びの設定

基礎学力の定着	モジュール学習を活用 ・琴中タイムを設定し、自律的な学習の場とする。 ・単元テストを実施し、スモールステップで、学習目標の達成をする。
	キャリア教育の充実 「生き方発見学習」から自分の進路選択の一助とする。
その他	読書活動の推進 ・図書館の利用促進、朝読書の充実
	生活習慣を整える ・携帯スマホのルールの徹底

環境づくり・家庭学習・小中連携

学習規律の徹底	学習規律の徹底「しっかり学ぶ8か条」 全ての教職員の共通理解の下に確実な実践
	準備 2分前着席・1分前黙想 次時の準備をして休憩に入る
	挨拶 元気な挨拶 拳手と返事をしっかりと
	聞く 話している人の方を向いて聞く 最後まで丁寧に聞く
	伝える 正しい言葉遣いで伝える みんなに届く声で伝える

琴中タイムの活用	目標を持った学習 毎週木曜日に25分間の自律学習の時間の設定 (形態) 班・個人を自ら選択して取り組む
	テスト後の振り返り学習、訂正ノート作成への活用
	単元テスト・確認テストの利用

小中連携	琴海地区学校連絡協議会 琴海地区共通実践事項 ・主体的に学ぶ場の設定 ・家庭学習の定着 ・学習規律の連続性 小中間の共通理解の促進
	琴海地区全教職員による研修の実施 児童生徒についての情報交換

学力調査による本校の実態把握

○目標をもって学習に取り組む生徒の割合が高い。 ● 読解力の向上 ⇒普段から何が問われているのかの問題理解の徹底 ⇒誤答から学ぶ。間違い分析をすることで、問題把握の徹底を図る	○学び合い活動の中で論拠を明確に説明させる。 ○キャリア教育の充実を図り、高校入学が目標ではなく、自分の生き方の発見に力を入れる。 ○学習規律の徹底を図り、聞く態度の向上をはかる。
---	--

